



第79回青葉ヶ丘祭 全員で自分を表現することができました！

7月4日（土）と5日（日）の2日間、本校で学校祭（青葉ヶ丘祭）を行いました。今年のテーマ「フルスピード」。生徒は文字どおり全力で、それぞれが自分自身を表現しました。

初日は各クラスでデザインした「Tシャツ」や「クラス旗」の披露会、「青春ソング&ダンス」が行われ、ステージ上での個性とアイデアあふれるパフォーマンスに会場は拍手喝采でした。

2日目は一般公開で多くの来場者の方に、クラス模擬店や成果発表を楽しんでいただくことができました。また、恒例のPTA販売では、沢山の保護者の方々に協力いただき、大人も一緒に学校祭を盛り上げました。最終日の最後には青葉ヶ丘公園で花火が打ち上げられました。

生徒は夜空に次々と映し出される様々な花模様に歓声を上げながら、夏のひとときの思い出を心に刻んでいました。

今年度も森中学校吹奏楽部、森警察署、自衛隊函館地方協力本部、森町ane.妻サークルをはじめ、多くの皆様からの温かいご協力をいただき、生徒は充実した学校祭を経験することができました。関係いただいた皆様に深くお礼申し上げます。



<運営した感想> 3年 中坂 飛龍（生徒会長）

正直、「こんな人の少ない高校の学校祭なんてたかが知れている」と内心では軽視していました。ですが、ふたを開けてみるとそれは軽はずみな考えだったことを思い知らされました。森高生たちの顔はみんな明るくて、衝撃とともに盛り上がってくれたことへの安堵の気持ちでいっぱいになりました。2日目の一般公開はPTAの保護者の方や地元のお店の協力で屋台の数も多くとても楽しい雰囲気でした。笑顔になっているお客さんを見て、「学校祭があつてよかった」と強く感じるすることができました。やっぱり森高は最高の学校ですね。



eスポーツ部 初の大会にチャレンジ！

本校の特色ある部活動の1つに「eスポーツ部」があります。5月にはNHKの「ほっとニュース北海道」でも特集として取り上げていただきました。本校にはDXハイスクール事業の一環として高性能のパソコン機器が整備されており、それに伴って昨年度から部が立ち上げられました。

昨年度は校内のみでの活動でしたが、今年度は新入生を含め部員が8名となり、より充実した活動を目指し今回初の大会に出場することとなりました。6月13日（土）に高校eスポーツの祭典として知られる「コカ・コーラ STAGE：0」北海道ブロック・ヴァロラント部門に参加しました。はじめての大会出場の対戦相手は強豪校N高等学校。結果は0対13と完敗でしたが優勝候補にも最後まであきらめず、チームは心をひとつに戦いました。試合こそ敗れましたが、森高校に「希望の扉」がまた一つ開いた瞬間でした。eスポーツは世界に競技人口が10億人いると言われています。

今後ますます発展が期待されるこのスポーツで、これからさらに技術とチームワークを磨き、活躍することを期待しています。



● 薬物乱用防止講話

人との関わりが防止につながる！

6月23日（火）に本校体育館で「薬物乱用防止講話」を行いました。この講話は、近年若者の間で深刻化しているオーバードーズやSNSを通じた密売の手口など時代に合わせた危険性を専門的に教えるとともに、薬物を取り巻く危険性を自分事として認識し、正しい判断力を養うことを目的として毎年行われています。

今年度は森町地域おこし協力隊の内谷正文さんを講師にお招きしました。講話の冒頭に内谷さんから「表現やコミュニケーションづくりも薬物乱用の防止になる」とのお話があり、生徒全員で簡単なエクササイズを行いました。生徒の表情はそれによって一気に変わりました。その後、映像も交えながら内谷さんの体験に基づいた薬物の怖さが語られ、生徒は真剣な表情で耳を傾けていました。

講話の中で内谷さんは「薬物依存症の根底にあるものは人間関係の希薄さだと感じる。

だから若い頃から人との関わりを保ち、人と話すことはとても大切だ」ということを強調し、真剣なメッセージとしてしっかり生徒に伝えられました。

今回の講話で、生徒たちは依存症の恐怖を身近に感じるとともに、「なぜ人は薬物に依存してしまうのか」という背景や依存症に陥った人を更生するための支援団体の存在などを知る機会となり、多くの知識と考えを深めることができました。

今回の講話を忘れず、危険薬物には一生関わらない人生を強い信念を持って送りたいと思います。



<参加した感想> 1年 松山 優里

薬物依存症には軽度から重度があることがわかった。とくに重度の依存症では、幻覚や幻聴によって家族を巻き込む異常な行動につながり、怖いと思った。周りに薬物に手を出そうとしている人がいたら絶対に止めたいと感じた。講話では体を動かしたり、動画を観たり様々な視点から学ぶことができた。



<参加した感想> 2年 佐々木 琉海

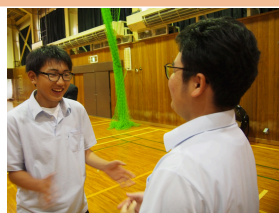
最初は薬物を軽んじていたのですが、聞いていくうちに身内が薬物の使用をしていく過程で依存症に犯され、それによって背負われてきた数知れない苦労や悲しみが直接伝わってきました。薬物は自分も家庭も破壊していくんだということを知りました。薬物に対して絶対に染まらない強い意志のある人間になりたいと思いました。



講演前のエクササイズの様子



防止におけるコミュニケーションの大切さも学びました



内谷さんの質問にも自分の考えを伝えることができました



● 科目選択ガイダンス 進路・興味に合わせ自分で時間割をつくる！

総合学科高校である本校の特色の1つとして、生徒は全員が同じ科目を学ぶのではなく、多くの選択科目の中から自分の興味・関心や進路に合わせて「自分で時間割をデザインできる」ことが挙げられます。進路がまだ決まっていない生徒には本校教員が科目ごとに丁寧に説明し、自ら決定するためのサポートをしてくれます。

今年度も1年生を対象とした「科目選択ガイダンス」を6月19日（金）と23日（火）の2回実施しました。多くの生徒が参加し、2年次以降の授業はどのような科目があるのか、またどのような内容や条件があるのか等を教科担任に熱心に質問していました。科目選択を「自分ごと」として考えることは自分の将来と向き合い、主体性や自己管理能力を高めることにもつながります。

「自らの力で将来を切り拓く生徒」を森高校はこれからも育てていきます。



<今後の主な行事>

7/22 夏季休業前集会	7/23～8/20 夏季休業期間
7/23～24 インターンシップ（2年次）	7/23 普通救命講習
7/30 学校説明会	8/12～14 学校閉庁日
8/17～20 夏期講習	
8/21 夏季休業明け集会	介護初任者研修

森高 One up!



←森高キャラクター
「はたてん」

森高公式noteは
こちらから



森高公式Instagramは
こちらから

